



耐久高等学校

マンスリータイムズ 2007 11月号

〒643-0004
有田郡湯浅町湯浅1985
和歌山県立耐久高等学校
TEL 0737-62-4148
FAX 0737-62-2251

第40回 縄跳び大会 11月1日(木)

本校の数ある伝統行事の中でも40年の歴史を誇る「校内縄跳び(二回旋)大会」を、2限目に2年生、3限目に1年生、4限目に3年生で実施した。この大会は各学年別の個人記録を競うと共に、クラスの平均値を算出して学年別のクラス順位も競うものである。また、40年間の歴代記録にも挑戦する楽しみもある。ちなみに最も古い記録は昭和48年の1年生男子482回で、最も新しい記録は今回の2年生女子237回である。今回の記録は昭和59年以来23年ぶりの記録更新となった。



セルロイドの女神(ミューズ) 11月9日(金)

校内読書旬間中に行われる図書館主催の教養講座として、本校英語科の玉置教諭が「セルロイドの女神(ミューズ)」と題して講義を行った。「セルロイド」は映画フィルムのことで、映画の魅力や見所、楽しみ方などについて英語学習も織り交ぜながら熱く語った。



人権ロングホームルーム 11月14日(水)

後期の人権LHRとして、1年生は映画鑑賞を行い、3年生は「卒業していく君たちへ」と題して本校元校長の藪添泰弘氏を講師に招いて講演会を行った。そして、2年生は「さまざまな社会問題について考えるーまちを元気にするのは誰の仕事だろう?ー」と題して講演会を行った。講師は訪問理美容ハンズ代表、わかやまNPOセンター副理事長の有井安仁氏と有井氏の友人で、しらす創り七代目「山利」の木村尚博氏。有井氏は訪問理容を始めたきっかけやNPOとしての取組、木村氏は仕事を通じての広がりなどについて語り、その後、二人で若者の県外流出や地域の活性化についてやこれからの目標などについて語った。講演は、映像を随所に用いた興味を引く内容で、二人とも大変若くして生徒にとっては身近な存在であり、取組の熱意が強く感じられたと思う。

がんばれ母校!先輩が先生 11月16(金)

本年度の先輩による講演会は昭和37年3月卒業生の横山享氏を招いて開催された。横山氏は(株)グロリア魔法瓶製作所代表取締役会長、(株)ピーエイチワイ代表取締役社長で、「これからの皆さんへーネットワークを構築せよー」と題し、友人の大切さや多くの友人を持つこと、コミュニケーションやディスカッションの必要性、好奇心や広い視野を持つことなどについて、自身の事業経営の経験や海外出張での体験をまじえてわかりやすくテンポよく話してくれ、国際理解教育としてもキャリア教育としても役立つ有意義な内容であった。



「税に関する高校生の作文」表彰式 11月19(月)

1年生の高岸俊文君が「税金について」、上田翔太君が「税を作る者達へ」と題した作文で湯浅税務署長賞と有田地方租税教育推進協議会会長賞を受賞し、湯浅税務署長から賞状を手渡された。



「研究授業」の一コマから

11月22日(木)

PISA型読解力向上研究委員として取り組む田村教諭による現代社会の研究授業を実施。



12月の主な行事予定

10~19 図書館クリスマスフェア
21(金) 終業アセンブリ
21~27 三者面談